

一般質問事項一覧

12月6日（月）

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／6日（月）	林（新風会・公明）	一問一答方式	<p>1 令和4年度予算編成と次期市長選挙について</p> <p>本年度から大幅な機構改革とともに第六次大野市総合計画がスタートした。この機構改革は市民サービスの向上と新たな行政課題への対応を強化するとして行われたが、部局をまたぐ行政課題も多く、組織全体で正しく共有・認識した上で、専門性と柔軟性を持って施策に反映し、市民や事業者と協働して解決していく必要がある。</p> <p>そこで、次の2点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新たな組織体制となって初となる令和4年度予算が編成時期を迎えているが、編成に当たり部局長へ強く求めた点について問う。 ○ 令和4年7月で任期満了となる次期市長選挙に向けた考えについて問う。
			<p>2 大野市のより良い教育環境について</p> <p>児童・生徒1人に1台配備されたタブレット端末の教育現場や家庭等における利活用が進められている。また、今後は小学校における教科担任制の導入、中学校における部活動の地域への移行といった全国的な動きとともに、本市においてはより良い教育環境を提供するため、平成29年1月に策定された大野市小中学校再編計画の改訂作業が大詰めを迎えている。</p> <p>子どもたちを取り巻く環境が大きく変わる中、保護者の経済的、心理的負担の軽減や、地域を含めた協力が不可欠であり、大野市のより良い教育環境をどう整えていくのか、大変重要な時期を迎えていることから、次の2点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大野市小中学校再編計画の改訂案に対する市民意見の結果概要と改訂後、力を入れていく点は何か。 ○ 部活動の地域への移行に向けた課題は何か。また、地元の県立高校への進学を増やすため、福井県と協議は行っているのか。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) / 6日(月)	白 崎 (新風会・公明)	一括質問・答弁方式	<p>1 大野市小中学校タブレット端末の活用状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ G I G Aスクール構想に伴い、市内小中学校の児童・生徒に1人1台のタブレット端末を貸与しているが、現在、授業でどのように活用されているのか。 ○ 各学校や各学年によるタブレット端末の利用頻度に違いはあるのか。 ○ 現段階でタブレット端末の故障等の状況はどうか。 ○ 各家庭での使用に関して、児童・生徒が各家庭で接続テストを実施していることだが、各家庭で問題なく利用可能なのか。通信機器等の貸し出し状況はどうか。
			<p>2 移住定住の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現在の移住定住の相談及び実際に移住に至った状況はどのようになっているのか。 ○ 移住定住施策などをパッケージ化した「大野に“来て”“見て”“住んで”応援パッケージ」はどのように効果を発揮しているのか。 ○ 大野市としてU・Iターンを支援する制度にはどのようなものがあるのか。また、それぞれの利用状況はどうか。 ○ 集落(行政区)単位で移住者を受け入れる仕組み作りに関して、集落の募集状況はどうか。実際にどのような活動をしているのか。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) / 6日(月)	永田(清風会)	一括質問・答弁方式	<p>1 来年の任期満了に伴う市長選挙について</p> <p>石山市長は、平成30年6月17日の市長選挙で初当選を果たされ、これにより福井県内、また北陸3県で初めての女性の自治体首長として、7月7日に市長に就任された。</p> <p>「みんなが大野を好きになる 未来へつなぐまちづくり」として時代の変化に対応して、大野市を担う人々に引き継ぎたいという強い決意の下、さまざまな政策を展開してこられた。</p> <p>そして、みんなが大野を好きになる五つの方法を示され、着実に進められた。この間、新型コロナウイルス感染症対策や相次ぐ職員の不祥事など予期せぬ事態が発生し、加えて異常気象による豪雨・大雪被害、湯水による地下水対策と目まぐるしく対応を迫られ、緊急事態における事前事後の取り組みも遅滞なく行い対処されたと考える。</p> <p>この4月からは、今後10年を見据えた「第六次大野市総合計画」に基づき大規模な機構改革を断行された。このようなことから、従来の計画の進捗(しんちよく)管理を図りつつ、構想実現に向けて取り組まれているが、引き続き取り組むべき課題が山積していると考ええる。</p> <p>そこで、石山市長におかれては、来年の市長選挙について、現在どのように思われているのかお尋ねする。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) ／6日 (月)	ダニエル (無党派)	一問一答方式	<p>1 大野市における公共施設再編計画について</p> <p>大野市の公共施設再編計画の中間報告が議会に提出されたが、これは市民にとって非常に関心の高い案件だと考えている。費用対効果や利便性を考えると、市内の資料館や博物館などは統廃合していくべきではないか。</p> <p>また、まだ開設されて間もないCOCONOアートプレイスや水のがっこうも利用者が少ないようだが、今後どのような方針で運営をしていく予定か伺いたい。</p>
			<p>2 未就学児への英語教育について</p> <p>グローバル化が進む中、英語教育の重要性は年々高まっていると思われる。このような環境の中で、言語習得能力の高い未就学児に対する英語教育を大野市で実施していくべきだと考えるが、教育委員会の考えを伺いたい。</p> <p>また予算措置が伴う案件なので、市長の政治判断が必要になってくる。令和4年度の予算案に反映させる予定かどうか伺う。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第1日) ／6日 (月)	梅林 (無党派)	一括質問・答弁方式	<p>1 地下水をすべての原水とする、全国に誇れる水のまちとしての、健全な水循環について</p> <hr/> <p>① 市長は、この度の清滝川、木瓜川の水無しになった川による水生生物の大量死、水生植物の絶滅などを招いた状況をどのように捉えているのか。</p> <p>また、魚たちの命を無駄にしないためにも、健全な水循環に向けて早急にしなければならぬことは何と考えるか。</p> <p>② 市内で最も地下水位の高い泉町地区等の公共下水道整備において、地下水に影響を及ぼさないため、どのように工事を行うことになるのか。</p> <p>また工事費は、他の地域の下水道工事費よりどれくらい高騰すると概算しているのか。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／6日（月）	堀田（清風会）	一括質問・答弁方式	<p>1 令和4年度当初予算について</p> <p>「大野市高速交通アクションプログラム」「健康のまちづくり」「大野ですくすく子育て応援パッケージ」の重点プロジェクトや、「移住定住」「地域づくり」「デジタル化」「脱炭素」「大野でいきいきシニア安心パッケージ」の各施策パッケージを積極的に推進すること。 令和3年度からの継続施策でもあるが、どのようなことに重点を置いて臨まれる考えなのか。</p>
			<p>2 公共施設等総合管理計画について</p> <p>○ 今後、人口減少や少子化、高齢化の進展等により社会構造が大きく変化し、住民ニーズが変化していくとし、個別施設計画や公共施設再編計画の改訂が進められているが、公共施設等総合管理計画で掲げている管理に関する基本的な考え方である施設総量の縮減や更新経費の削減の数値目標などの改訂はするのか。 また令和2年度の公共施設再編の対策費はいくらか。</p> <p>○ 公共施設の適正化に向けた取り組みについて 平成30年度に和泉保育園、和泉児童センターの機能移転、そして令和2年度に和泉支所と和泉公民館の業務を統合し、名称を大野市和泉地域交流センターとして、今後、和泉地区の公民館を中心とした住民との協働による地域づくりに取り組むとしているが、機能統合も含めての現在の評価を聞きたい。 また和泉地区で実施された機能統合を各地区で進めていくのか。</p> <p>○ 市有財産の活用について 中部縦貫自動車道の整備や北陸新幹線金沢敦賀間の開業を見据え、そのチャンスを戦略的に進める上で、普通財産の活用の検討を積極的に進めるべきと考えるが見解を聞きたい。</p> <p>○ インフラ資産について 河川中央に橋脚がある橋りょうは、大雨の時に流木やゴミ等が橋脚に引っ掛かり、川をせき止める恐れがあり、豪雨の際には堤防の越流や決壊により大規模災害を引き起こす恐れがある。そのような橋りょうはどれくらいあるのか。 また、そういった橋りょうは今後ますます老朽化が懸念されるが、長寿命化と架け替えの判定はどのように考えるのか。そして河川中央に橋脚がある橋りょうの豪雨時の対応を聞きたい。</p>

一般質問事項一覧

12月7日（火）

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／7日（火）	木戸屋（未来おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 「過疎地域」からの卒業に向けた取り組みについて</p> <p>旧法律「過疎地域自立促進特別措置法」において、大野市全体が「過疎地域」に指定されたのは平成29年度であった。それから4年が経過した令和3年3月までに人口減少を食い止めるさまざまな施策が講じられ、過疎対策事業債を活用した資金も投じられてきた。</p> <p>令和3年4月には、新法「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が施行され、本市は引き続き市全体が「過疎地域」に指定されている。県内の市で市全体が「過疎地域」に指定されているのは本市だけである。</p> <p>全国では令和3年3月末時点で「過疎地域」に指定されていたのは817団体、うち卒業した団体は45団体である。</p> <p>本市も「過疎地域」を卒業するように、今までの対策を検証しさらに有効な人口減少対策に取り組む必要がある。</p> <p>そこで、次の点について質問する。</p> <p>① 過去4年間、人口減少対策を中心として「過疎地域」からの卒業に向けて取り組んできたが、その成果と改善すべき点は何か。</p> <p>② 過去4年間の過疎対策事業債を活用した主な分野とその効果は何か。</p> <p>③ 今議会に上程されている「大野市過疎地域持続的発展計画（案）」では、前回の計画と比べて何を改善し、何に重点を置いて作成しているのか。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) ／7日(火)	木戸屋 (未来おおの)	一括質問・ 答弁方式	<p>2 市職員による市民への対応について</p> <p>市職員は、憲法や地方公務員法によって全体の奉仕者であり、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務しなければならないとされている。</p> <p>市職員は、このことを仕事の根底に置きながら、日々、職務の遂行に当たっていることと思う。</p> <p>しかし残念ながら、市職員と市民との些細な行き違いにより、度々不信を招いていることがあるのも事実である。</p> <p>そのことを是正する方策を見つけるために、次の点について質問をする。</p> <p>① 市民が居住地区の中での公共の問題を相談したいときは、どのような手順で市に相談すればよいのか。手順があるのならば、それは市民に周知されているのか。</p> <p>② 市職員の窓口対応や電話対応が良くないという声を時々聞くが、対応のマナー教育はどのようになされているのか。また、基本的なマニュアルはあるのか。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／7日（火）	榮（日本共産党大野市議団）	一括質問・答弁方式	<p>1 議案第98号大野市債権管理条例案について</p> <p>提案理由によれば、市が保有する債権の管理適正化と回収の効率化に向けて、債権管理に必要な手続きを定めるためとしているが、管理の適正化や回収の効率化は、条例ができることによりどのように図られるのか。</p>
			<p>2 国民健康保険税率の改正について</p> <p>国保加入者は、協会けんぽや職場の健康保険に加入していない人、店などを経営している自営業者など、経済的には比較的不安定で、景気・不景気の影響を受けやすい特徴がある。</p> <p>そこを支える財政基盤は当然脆弱（ぜいじゃく）のため、自治体の一般会計から不足する財源を保険会計へ繰り入れることは必然性を持つと思うが、市の見解を聞きたい。</p>
			<p>3 米価の暴落続きについて</p> <p>生産費が60畝当たり1万5,000円のコメが1万500円から1万円以下という暴落がこのまま続けば、認定農業者に減反を依頼し、自治体の補助金政策で農業農村の維持が続けられるのか。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) ／ 7日 (火)	高岡 (双葉会)	一括質問・答弁方式	<p>1 市長の政治姿勢について</p>
			<ul style="list-style-type: none"> ○ 大野市にとって取り組むべき喫緊の課題は何と考えるか。 ○ ゼロカーボンシティについて、現状認識と対策はどうか、市長としての考えを尋ねる。 ○ 人口減少について、現状認識はどうか。
			<p>1 教育長の政治姿勢について</p>
			<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校再編における現在の進捗(しんちよく)はどうか。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／7日（火）	伊東（新風会・公明）	一括質問・答弁方式	<p>1 子宮頸がんワクチンについて</p> <p>子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）感染症を防ぐワクチン接種について、厚生労働省は11月26日、接種の「積極的勧奨」を来年4月から再開するよう自治体に通知した。</p> <p>そこで、接種主体となる大野市の現在の状況と今後の対応について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 接種勧奨が中止されていた期間の直近3年間（平成30年度～令和2年度）の対象者数と接種率について伺う。 ○ 子宮頸がんの予防に向けた啓発活動について、市民への情報提供や20歳からの子宮頸がん検診の認識につながるような環境づくりも必要と考えるが見解を伺う。 ○ 子宮頸がんワクチン接種の積極的な勧奨が中止された間に機会を逃してしまった女性への支援について、どのように考えているのか。
			<p>2 在宅介護の家族支援について</p> <p>第六次大野市総合計画前期基本計画のスタートとなる本年、高齢者の生きがいづくりや外出支援など、さまざまなサービスを「大野でいきいきシニア安心パッケージ」として取りまとめ、高齢者の積極的な社会参加に取り組んでいるが、在宅で介護をしている高齢者は生活に疲弊し、十分にサービスが受けられない、または届かないという実情がある。</p> <p>誰もが安心して住み続けていけるよう解決に向けたアプローチが必要であることから、次の2点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多重介護や老老介護など、介護を取り巻く本市の現状を伺う。 ○ 家族介護者への負担軽減について、どのように考えているのか。
			<p>3 デジタル格差の解消について</p> <p>本年9月、デジタル社会の実現に向け、国はデジタル庁を創設し、ポストコロナの新しい社会をつくる方針を掲げた。</p> <p>デジタルの活用は今後ますます加速していくことが予想され、大野市においても今定例会の提案理由説明でデジタル化を推進していくこととしている。</p> <p>しかし、高齢者のインターネット利用が増加する一方で、いまだ敬遠している高齢者も多く見られ、デジタル格差が生じている。</p> <p>マイナンバーカードの取得促進や行政手続きの利便性が高まる中、高齢者に配慮した対応が十分に進んでいないと感じられることから、今後の対応について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デジタル化社会に向けて、誰もが利用しやすい環境の整備へさらなる配慮、支援が必要と考えるが、市の見解を伺う。

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) ／7日 (火)	野村 (日本共産党大野市議団)	一括質問・答弁方式	<p>1 脱炭素社会に向けてどのように取り組むのか</p> <hr/> <p>① 脱炭素社会を築いていく本来の目的は何か。</p> <p>② ゼロカーボンシティ宣言を表明した自治体の責任とは何か。</p> <p>③ 脱炭素社会の実現に向け、生活に欠かせない電力として、原子力発電・火力発電・水力発電・風力発電・太陽光発電についてどのように考えるか。</p> <p>④ 脱炭素社会実現に取り組む市民に市独自の新たな助成を行なえないか。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／7日（火）	廣瀬（新風会・公明）	一括質問・答弁方式	<p>1 大雪に対する対応について</p> <p>福井県ではここ4年の間に2回の大雪を経験した。 この大雪に対する大野市の対応について、以下の2点について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大雪に対する対応については、各課での対応ではなく、全庁的な対応が必要になってくる。 令和3年1月の大雪に対する全庁的な対応について不都合な点はなかったか。 令和3年度以降の対応で変更を考えている点はないか。 ○ 令和3年1月の大雪に対する除雪、排雪で問題点はなかったのか。 また令和3年度の除雪・排雪計画で、令和2年度からの変更を考えている点はないか。